

小4

国語

読解

こたえ

なまえ _____

読解 二重の にじ

_____ がつ _____ にち

次の文章を読んで、問いに答えましょう。

- ① この話は、いつのことですか。 イ
- ア 雨が ふり始めた 朝 イ 夕立が 上がった 午後 ウ 晴れた 夜
- ② 外側の にじは、内側の にじと 何が ちがいますか。六字で ぬき出しましょう。(6字)
- 色の 順番
- ③ 「何でも 知っているね」と 言われた おばあちゃんは、どう 答えましたか。 イ
- ア 本で 読んだだけ イ よく 見ているだけ ウ 昔 習っただけ
- ④ 最後の 一文から、まりの どんな 気持ちが 分かりますか。
- 空を もつと よく 見て みたい 気持ち

夕立^{ゆうだち}が 上がった 午後、まりは おばあちゃんと 縁側^{えんがわ}に すわっていた。ぬれた 庭の 木が、きらきら 光っている。

「ほら、見てごらん。」おばあちゃんが 空を 指さした。東の 空に、大きな にじが かかっている。しかも、その 外側に、もう 一本、うすい にじが 見えた。「二重の にじだ。」まりは 思わず 立ち上がった。

「外側の にじは、色の 順番が 反対に なっているんだよ。」おばあちゃんの 言葉に、まりは 目を こらした。本当だ。内側は 上が 赤で、外側は 上が むらさきに なっている。

「おばあちゃんは、何でも 知っているね。」まりが 言うと、おばあちゃんは 笑って 答えた。「知っているんじゃないくて、よく 見ているだけだよ。」まりは、にじが 消えるまで、空から 目を はなさなかった。見れば 見るほど、空は 不思議^{ふしぎ}で いっぱいだった。

